



第13回日本アグーナリー 大会報告書

2024年8月8日(木)～12日(月・祝)

福島県・国立磐梯青少年交流の家



公益財団法人

ボーイスカウト日本連盟

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

- 01 大会長挨拶
運営本部長挨拶
- 02 大会概要
- 03 大会日程
- 04 会場マップ(屋外・屋内)
- 05 参加者
- 06 県連盟別参加人数内訳
- 07 配慮を必要とする参加者数
大会のプログラム
- 08 大会組織
大会本部
- 09 大会期間中の主な内容
 - 09 8月7日(水) 本部スタッフおよびチャレンジクルーの集合、研修会
 - 10 8月8日(木) 参加隊の集合／開会式
 - 12 8月9日(金) 場内プログラム／フォーラム
 - 14 8月10日(土) 場内プログラム／交流のタベ
 - 16 8月11日(日) 場外プログラム／ドリームアワード授与／磐梯のタベ
 - 18 8月12日(月・祝) 閉会式
- 19 みんなの We Can!
- 20 君は名カメラマン



■ 大会長挨拶

楽しかった第13回日本アグーナリーもこの閉会式をもって終わりとなります。皆さん、楽しみましたか？

大会テーマにある「深めよう友情」ということでみんなが知り合って仲良くなる、そして、「ひろげよう絆」みんなが一緒になって助け合う、そのようなプログラムがたくさんありました。皆さんはそれらを一つひとつ達成することで「We Can! 私たちはできますよ」という気持ちを持ってアグーナリーに参加し、プログラムを達成してドリームアワードを取得していただきました。皆さんの首にアワードがかかっている姿を私も嬉しく思います。

8月8日から大会が始まり、10日には佳子さまにお成りをいただいて代表スカウトとの交流やプログラムの見学、そして交流の夕べに参加していただきました。佳子さまは手話もできるんですね。そして、海外の皆さまとは英語でお話しをされて交流を深められて私たちも光栄だと思いました。

そして11日はバスで会場の外のいろいろな場所へ行って充実したプログラムを体験されたと思います。

この良い思い出を一生覚えておき、ここで学んだことを自分で活かしていただければと思います。

いろいろな障がいがあってもなくてもみんなが一緒になって幸せな社会を作りましょうというアグーナリーが、こうして皆さまのご協力で無事に終了することができました。一人ひとり皆さま方に感謝をし、そして、良い思い出を持って帰ってもらうことを心から念じてご挨拶といたします。本当にありがとうございました。[閉会式挨拶]



第13回日本アグーナリー
大会長

水野 正人

[日本連盟理事長]

■ 運営本部長挨拶



運営本部長

高崎 友延

[13NA 実行委員長・福島連盟副連盟長]

日本アグーナリーは、4年を周期に、障がいのあるスカウト（特別な配慮を必要とするスカウト）が相集い、海外を含めた多くのスカウトたちとのキャンプ生活を通じて、スカウト仲間としての心の触れ合いと共通体験の中から、明るい希望を持って積極的に社会生活に参加することを目的に開催してきました。

第8回大会までは、障がいのあるスカウトのためだけの大会ではなく、参加するすべてのスカウト・指導者が、期間中の諸活動を通じて共に生きることを学ぶ「学習の場」となり、第10回大会以降では、障がいの有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生する社会」を実現するという社会のニーズに応えることを目指して開催しています。

13回目となる今大会は、2020年に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2024年に延期しました。8年ぶりとなった本年、「We Can! ふかめよう友情、ひろげよう絆」を大会テーマに掲げ、全国から地域の人々との交流を積極的に取り組むことを目指して開催しました。

■ 大会概要

大会の目的

日本アグーナリーは、キャンプを通じて、全ての参加者が障がいについての理解を深め、人格と個性を尊重し支え合えあう社会の実現を目指すことを目的とする。

大会の目標

- ① 国内外の特別な配慮を必要とする青少年が相集い、自信と勇気に満ちた生活態度を自ら獲得できるよう努力する。
- ② 障がいのある人への理解を深め、合理的な配慮や支援が行えるようにする。
- ③ 磐梯山麓の豊かな自然の中でのキャンプ生活を通じて、自然・人・社会との共生の大切さを体感する。

テーマ

「We Can! ふかめよう友情、ひろげよう絆」

「We Can (私たちは、できるのだ)」は、世界スカウト機構が、各国スカウト組織の指導者を対象として“健康や障がいについての意識”を高めていくために発行したプログラム資料の名称であり、世界的なボーイスカウト運動の中でも「障がい(者)」に対する意識を考える標語ともなった。

この言葉は、第8回、第9回ではサブテーマとし、第10回～第12回では、参加者それぞれが仲間と一緒に何ができるか、何をすべきかを考えるようこの言葉をテーマに設定した。第13回も引き続き、この言葉をテーマとし、サブテーマには、開催地福島ならではのキーワードである「絆」を使用した。

主催

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

後援

文部科学省、福島県、福島県教育委員会、猪苗代町、猪苗代町教育委員会

会期

2024年8月8日(木)～8月12日(月祝)

※本部スタッフは8月7日(水)に入場し、12日に退場

会場



福島県・国立磐梯青少年交流の家

〒969-3103 福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136-1

会場は、磐梯朝日国立公園の磐梯山麓南面に位置し、眼下には猪苗代湖を望み、近くには多くの湖沼群を有する裏磐梯などの、山と湖と森の豊かな自然に囲まれた青少年教育の拠点として、年間を通じ、福島県内はもとより、関東・東北地方を中心に多くの青少年が訪れ、自然体験活動・スポーツ・研修等に利用されている。



大会のシンボルマーク

デザインの説明：会場である国立磐梯青少年交流の家から望むことができるであろう「大磐梯」と「蘆ヶ峰」のシルエットを用いました。シルエットの中には丸が連結して日本列島を形成し、全国から集まったスカウトをイメージしています。さらに Agoonoree の中の「o」を福島の位置を示すプロットのアイコンにしました。

デザイン：福田 真幸（大阪連盟箕面第2団）

■ 大会日程

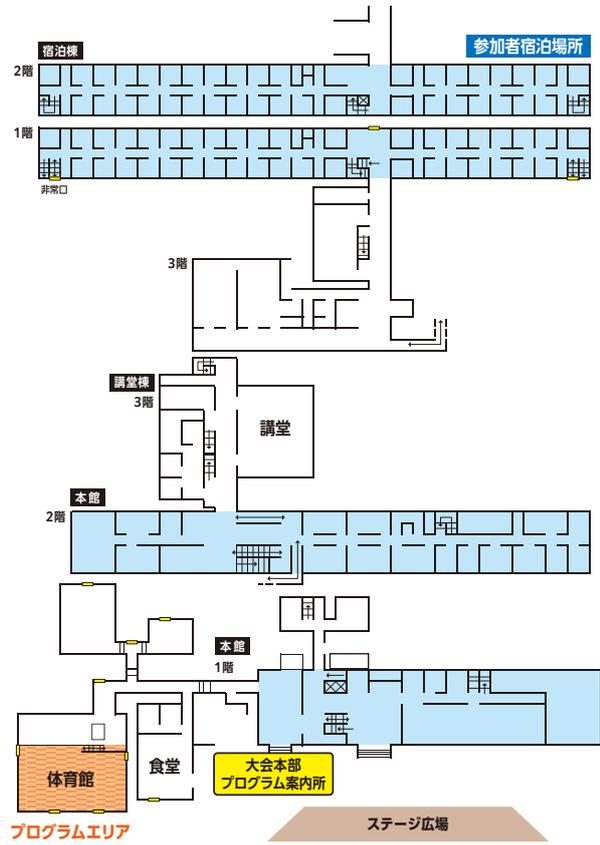
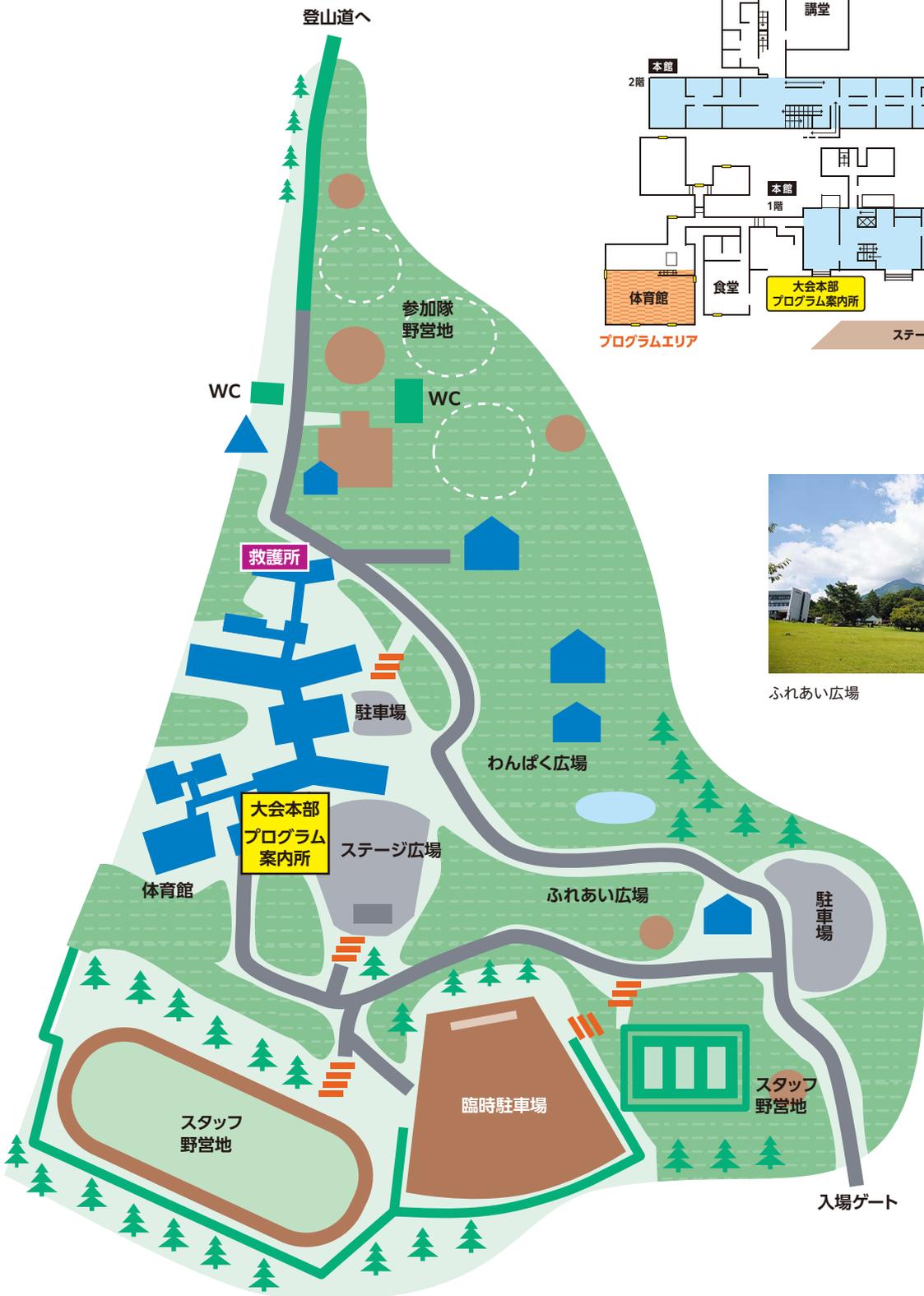
	前日	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日
	8月7日(水)	8月8日(木)	8月9日(金)	8月10日(土)	8月11日(日)	8月12日(月・祝)
	研修・準備	集合・開会式	場内プログラム	場内プログラム	場外プログラム 磐梯の夕べ	閉会式・解散
6:00		起床	起床	起床	起床	起床
7:00		朝食	朝食・朝礼	朝食・朝礼	朝食・朝礼	朝食・朝礼
8:00						
9:00		本部スタッフ チャレンジクルー (業務準備) (事前研修)	プログラム1日目 午前の部	プログラム2日目 午前の部	場外プログラム (一部の場内プログラ ムも実施)	環境整備
10:00						閉会式
11:00			昼食・休憩	昼食・休憩		参加隊 退場
12:00		参加隊 集合・受付				本部スタッフ チャレンジクルー 昼食 撤営
13:00	本部スタッフ チャレンジクルー 集合		プログラム 午後の部	プログラム 午後の部		
14:00	本部スタッフ チャレンジクルー (業務準備) (事前研修)	設営				
15:00						
16:00			隊の時間	隊の時間	隊の時間	
17:00		夕食	夕食	夕食	磐梯の夕べ	
18:00	夕食					
19:00	全体会議	開会式	フォーラム	交流の夕べ		
20:00	業務別会議	連絡会議	連絡会議	連絡会議	連絡会議	
21:00	準備作業	就寝	就寝	就寝	就寝	
22:00	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	



基本日課

起床	6:00	隊の時間	16:00
朝食	7:30	夕食	17:00
国旗掲揚	8:00	国旗降納	18:00
午前の活動	9:00～11:30	夜の活動	19:00～20:00
昼食	12:00	連絡会議	20:15
休憩	13:00	就寝	21:00
午後の活動	13:30～16:00	消灯	22:00

■ 会場マップ
(屋外・屋内)



ふれあい広場



■ 参加者 ※役職等は大会当時 その他、日本連盟役員、県連盟役員の方々の訪問があった。

参加者

1. 参加人員 950 人

① 参加隊 570 人 [国内 487 人、海外 27 人、ガールスカウト 16 人、一般 (国内) 9 人、一般 (韓国クインサ) 31 人]

② 本部スタッフ 380 人 [日本連盟役職員含む]

2. デイジビター (日帰り参加者) 295 人 [9日 22 人、10日 102 人、11日 171 人]

3. 大会運営協力者

場内外プログラム、磐梯の夕べ等で、ボーイスカウト北海道・東北ブロックの各県連盟をはじめ、県内各団体企業のみなさまから、ご協力をいただきました。

来賓 (敬称略・順不同)

● 国会議員

安江 伸夫 (文部科学大臣政務官)

玄葉 光一郎 (衆議院議員・ボーイスカウト振興国会議員連盟)

渡辺 博道 (衆議院議員・ボーイスカウト振興国会議員連盟)

亀岡 偉民 [代理] (衆議院議員・ボーイスカウト振興国会議員連盟)

● 文部科学省

平野 誠 (大臣官房参事官総合教育政策局社会教育振興総括官)

● 福島県

内堀雅雄 (県知事、ボーイスカウト福島連盟長)

大沼 博文 (県教育委員会教育長)

佐藤 郁雄 (県議会議員・BS・GS 振興県会議員懇談会長)

江花 圭司 (県議会議員・BS・GS 振興県会議員懇談会)

佐藤 義憲 (同)

長尾 トモ子 (同)

佐久間 俊男 (同)

猪俣 明伸 (同)

安田 成一 (同)

山田 真太郎 (同)

吉田 誠 (同)

小林 雄 (県教育庁社会教育課長)

西村 則昌 (福島県特別支援学校校長会会長)

● 猪苗代町

二瓶 盛一 (町長)

後藤 公男 (町議会議長)

宇南山 忠明 (町教育委員会教育長)

長谷川 勲 (町教育委員会生涯学習課長)

● 近隣市町村

大寺 正晃 (須賀川市長)

矢澤 源成 (三島町長)

寺木 誠伸 (会津若松市教育委員会教育長)

高梨 哲夫 (磐梯町教育委員会教育長)

佐川 正人 (喜多方市教育委員会教育長)

● 協賛企業

西畑 誠 (株式会社ゴーゴーカレーグループ 代表取締役社長)

橋本 健志 (同常務取締役)

● 関連団体

古川 和 (独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長)

長谷川 和弘 (独立行政法人国立青少年教育振興機構理事)

小野 保 (国立磐梯青少年交流の家所長)

伊藤 恵子 (ガールスカウト福島県連盟副連盟長)

川上 誠太郎 (広島県神石高原町未来創造課課長)

伊藤 邦夫 (広島県神石高原町未来創造課まちづくり推進係主任)

松永 紀男 (株式会社シージーエム福島代表取締役)

■ 県連盟別参加人数内訳

No	県連盟	参加隊				本部スタッフ							
		隊数	成人	スカウト	合計	活動	一般	CC	CCVS	生活	総合	本部	合計
1	北海道					1			1				2
2	青森県	1	3	4	7	1			1		2		4
3	岩手	1	4	9	13	4	1	3	2	1	1		12
4	宮城県	3	11	31	42	1	2	1	5	1	2	1	13
5	秋田県									2			2
6	山形県	3	9	10	19			2	2		1		5
7	福島	1	5	21	26	10	1		7	5	10	5	38
8	茨城県					4		1		4	1		10
9	栃木県	2	3	9	12	3		1	1	1			6
10	群馬県												
11	埼玉県	5	9	20	29	1	1	1	10	7	5		25
12	千葉県	5	29	21	50	2	1	4	5	3	3		18
13	神奈川	2	8	26	34	28		2	10	5	3		48
14	山梨												
15	東京	2	6	5	11	5	6	5	9	20	5	1	51
16	新潟					2		2	1	3	1		9
17	富山県							1			1		2
18	石川県												
19	福井					1							1
20	長野県	1	3	10	13	1							1
21	岐阜県	1	1	2	3			2		2			4
22	静岡県	2	14	9	23	7	1		1		2		11
23	愛知	2	4	8	12	1		3	5	5	2		16
24	三重												
25	滋賀	6	18	43	61	1			6	3			10
26	京都	1	3	0	3	3	1			2	1		7
27	兵庫	2	21	5	26			1	2	10	2		15
28	奈良県							1					1
29	和歌山					1							1
30	大阪	2	5	10	15	10	1	4	3	6			24
31	鳥取	2	6	10	16			1	8		1		10
32	島根												
33	岡山								1		1		2
34	広島県												
35	山口県	1	15	2	17			2	1				3
36	徳島												
37	香川	1	5	8	13								
38	愛媛県	1	7	1	8	1				1			2
39	高知県												
40	福岡県	1	10	21	31				1	2	1		4
41	佐賀県												
42	長崎県												
43	熊本県												
44	大分県	1	2	1	3								
45	宮崎												
46	鹿児島県												
47	沖縄県												
48	GS	6	10	6	16	1		1	4	1	2		9
49	香港	1	2	6	8								
50	マレーシア	1	5	10	15								
51	バングラデシュ	1	1	3	4								
52	一般参加(国内)	4	5	4	9								
53	一般参加(韓国)	1	6	25	31								
54	日本連盟											3	3
55	事務局											11	11
	合計	63	230	340	570	89	15	38	86	84	47	21	380

※ RS は成人に含む

※ 「活動」は「活動サービスセンター」、「一般」は「一般参加サービスセンター」、「CC」は「チャレンジクルーセンター」、「CCVS」は「チャレンジクルーセンター」のベンチャースカウト、「生活」は「生活サービスセンター」、「総合」は「総合サービスセンター」

■ 配慮を必要とする参加者数

参加確定申込書で申告のあった情報に基づき集計、食物アレルギーや花粉症は除く

配慮内容	参加隊	海外隊	本部 スタッフ	一般 参加者	合計	心疾患	1		1		2
知的障がい	22		2		24	転換性障がい			1		1
発達障がい	18			2	20	過呼吸症候群、 パニック障がい			1		1
精神障がい	1	2	1		4	吃音			1		1
自閉症	8	2	1	1	12	ペースメーカー			1		1
ダウン症	3				3	筋ジストロフィー (車椅子)			1		1
ADHD(多動性障がい)	4		1		5	椎圧迫骨折			1		1
身体障がい		8			8	脊柱管狭窄症			1		1
視覚障がい(両目)				1	1	股関節変形症、腰椎 すべり症、背椎湾曲			1		1
視覚障がい(片目)			2		2	起立性調節障がい			1		1
聴覚障がい(両耳)	1	1	1		3	歩行困難			1		1
聴覚障がい(片耳)	1		2		3	合計	59	14	22	4	99
脳性麻痺(車椅子)			1		1						
脳性麻痺		1			1						

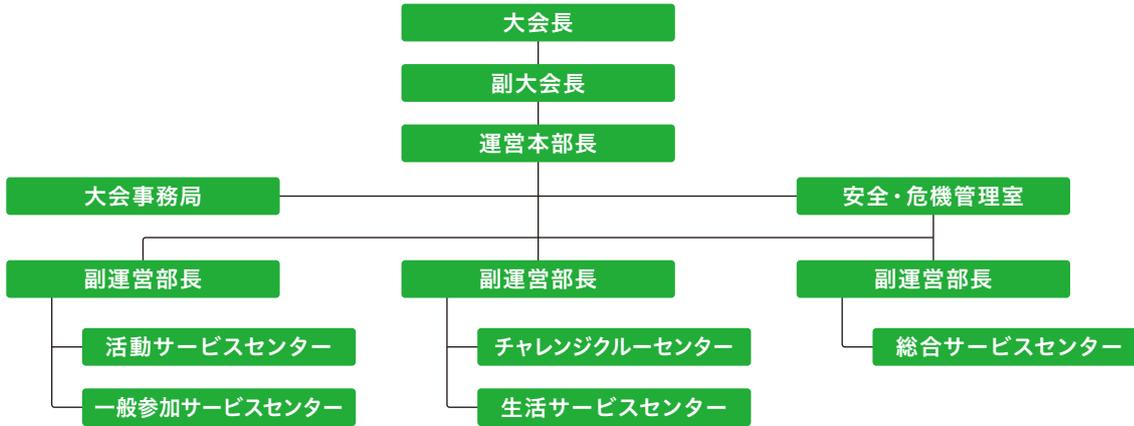
参加者 950人の10.4%

■ 大会のプログラム

項目	プログラム	実施日時
全体交流行事	開会式	8日[夕]
	アグーナリーフォーラム	9日[夕]
	交流の夕べ	10日[夕]
	磐梯の夕べ	11日[夕]
	閉会式	12日[午前]
デイリープログラム (隊長認証)	自由交歓プログラム	期間中
	スカウトタウンサービス	期間中
	サービスプログラム	期間中
場内プログラム	1 ばんだいカレーを作ろう!	9日、10日[午前・午後]
	2 ジャンボつるだ!	9日、10日、11日[午前・午後]
	3 ばんだいの自然と共に	9日、10日、11日[午前・午後]
	4 アグーナリーレンジャー	9日、10日、11日[午前・午後]
	5 ドリームドームを作ろう!	9日、10日[午前・午後]
	6 水合戦!	9日、10日、11日[午前・午後]
	7 癒しの森カフェ	9日、10日、11日[午前・午後]
	8 【中止】ばんだいの秘境を探せ!	9日、10日[午前・午後]
	9 竹細工	9日、10日、11日[午前・午後]
	10 革細工	9日、10日、11日[午前・午後]
	11 缶バッジ	9日、10日、11日[午前・午後]
	12 シルクプリント	9日、10日、11日[午前・午後]
	13 CQCQ こちら13NA	9日、10日、11日[午前・午後]
	14 高速道路のふれあい体験(協力: NEXCO 東日本)	9日、10日[午前・午後]
	15 キャップハンディトレイル	9日、10日、11日[午前・午後]
	16 そなえよつねに	9日、10日、11日[午前・午後]
	17 君は名カメラマン	9日、10日、11日[午前・午後]
	18 名刺作り	9日、10日、11日[午前・午後]
	19 ヤクルトマンと学ぶ「腸」の重要性(協力: ヤクルト)	9日、10日[午前・午後]
	20 紙コップスピーカー(協力: ソニー太陽)	9日、10日[午前・午後]
	21 サイバーセキュリティヒーロー(協力: パロアルトネットワークス)	9日、10日[午前・午後]
☆ 夜空ノムコウ(天体観測)	9日[夜]	
場外プログラム	1 えとのはりこを作ろう ラッキーにあおう	11日[午前・午後]
	2 おきあがりこぼしを作ろう お城にのぼろう	11日[午前・午後]
	3 牧場であそぼう 船にのろう	11日[午前・午後]
	4 野口英世さんを知ろう 船にのろう	11日[午前・午後]
	5 ハイキングに行こう 船にのろう	11日[午前・午後]
	6 猪苗代の自然を見よう 初野営大会の地に行こう	11日[午前・午後]
	7 ハイキングに行こう 白虎隊を知ろう(海外参加隊)	11日[午前・午後]

■ 大会組織

大会の運営は全国からのボランティアスタッフによって支えられており、それぞれのセンターにわかれた大会運営に関わりました。



■ 大会本部

役割	氏名	所属
大会長	水野 正人	日本連盟理事長
副大会長	出田 行徳	日本連盟専務理事
大会長付	木村 寿宏	日本連盟理事・副総コミッショナー
運営本部長	高崎 友延	13NA 実行委員長・福島連盟副連盟長
副運営本部長	和田 剛和	13NA 副実行委員長・日本連盟常務理事
副運営本部長	大槻 富寛	13NA 副実行委員長・福島連盟副連盟長
副運営本部長	櫻井 康博	13NA 副実行委員長・東京連盟理事
活動サービスセンター長	植田 明子	13NA 実行委員・静岡県連盟
活動サービス副センター長	夏井 宏	13NA 実行委員・福島連盟理事長
一般参加サービスセンター長	大関 宏之	13NA 実行委員・福島連盟監事
一般参加サービス副センター長	宮崎 賞人	13NA 実行委員・静岡県連盟理事
チャレンジクルーセンター長	河村 賀久	13NA 実行委員・山口県連盟副コミッショナー
チャレンジクルー副センター長	大江 裕樹	13NA 実行委員・山形連盟副コミッショナー
生活サービスセンター長	黒田 茂	13NA 実行委員・兵庫連盟理事長
生活サービス副センター長	清水 美香	13NA 実行委員・宮城県連盟
総合サービスセンター長	梶原 圭介	13NA 実行委員・福島連盟地区コミッショナー
総合サービス副センター長	高橋 弘之	13NA 実行委員・青森県連盟

※所属は11月末時点



■ 大会期間中の主な内容



8月7日(水)

本部スタッフおよび チャレンジグループの集合、 研修会

大会運営のための全国から本部スタッフおよび高校生年代のチャレンジグループら約400人が集合し、全スタッフを対象に、大会を安全に運営するための研修会などを行いました。ちょうど研修会のはじまる時間帯に局地的な豪雨が発生し、研修会終了後の大会準備作業が一部遅れましたが、スタッフの迅速な屋内避難により大きな怪我や事故なく準備を進めることができました。この日の夜は安全面を配慮し野外のスタッフを全員宿泊にしました。

なお、本大会では事前にオンラインでスタッフ研修および参加隊長会議を行っており、大会の円滑な運営に向けてお互いに協力し合う体制をつくることができました。

Topics

8年越しのチャレンジグループ

2016年に静岡県で開催した「第12回日本アグーナリー」。ここに参加した当時のカブスカウトは閉会式において「次回はチャレンジグループとして参加したいです!」という頼もしい挨拶をしてくれました。大会が延期となり高校生年代ではなくなった彼女はチャレンジグループとしての参加は叶いませんでしたが、ローバースカウトとしてチャレンジグループセンターに入り、ベンチャースカウトたちのサポートを行うことができました。

■ 参加隊の集合



8月8日(木)

参加隊の集合 開会式

午前中は引き続きスタッフによる準備作業を行いました。午後からは全国からの参加隊が続々と入場し、設営が始まりました。希望する参加隊は、「避難訓練ゲーム」に取り組み、ゲームを通じて施設内避難経路の確認等を行いました。

そしてこの日の夜には大会の「開会式」を行いました。参加隊の代表スカウトたちは自分たちの隊旗やプラカードを持って入場しました。カブスカウトも頑張って隊旗をもって入場しています。開会式には、多くのご来賓の方にもお越しいただき、激励のお言葉をいただきました。

■ 開会式





■ 場内プログラム



8月9日(金)

場内プログラム フォーラム

大会2日目、今日は場内プログラムの日です。会場内に約20用意されたプログラムをスカウトたちは好きな順番で体験します。工作や水遊び、タブレットを使ったプログラムなどさまざまなことに挑戦しました。障がいの有無に関わらず参加できるプログラムでは、挑戦する気持ちや達成感などを子どもたちは得ることができました。

この日の夜には「フォーラム」というものを行

いました。各参加隊の代表者や海外からの参加者がそれぞれグループに分かれてディスカッションを行い、アグーナリーを通してやってみたいことや大会が終わった後にどのようなスカウト活動をやりたいかなどを話しました。日頃、障がいのあるスカウトたちと一緒に活動する指導者たちも全国からの参加者と情報交換を行いました。



■ フォーラム



8月10日(土)

場内プログラム 交流の夕べ

前日に引き続き、参加者は会場内でのプログラムに挑戦しました。

また、この日の夜に開催した「交流の夕べ」では、国内外からの参加隊が出し物を披露し参加者同士の交流を深めました。



■ 交流の夕べ





第13回日本アグーナリー 佳子内親王殿下おことば

令和6年8月10日(土)

本日、豊かな自然に囲まれた福島県の磐梯山麓において第13回日本アグーナリーの交流の夕べが開催され、皆様にお会いできましたこと、大変うれしく思います。また、この事業の実施にあたり力を尽くしてこられたスカウトの皆様、指導者やスタッフ、関係者の皆様に深く敬意を表します。

今回のアグーナリーは「We Can! ふかめよう 友情、ひろげよう絆」をテーマにして開催されています。この美しい大自然の中で、全国から、また世界から集まった仲間とともに過ごすことは大変すきな機会だと思います。先ほどはドリームドームをつくろうというプログラムを見学し、だんだんと出来上がっていくドームからあふれる夢を感じました。

また、スカウトの代表の方々にさまざまなお話を伺い、頼もしく感じました。夕食の時間にカレーの配膳をお手伝いできたことも楽しいひとときでした。皆様が協力しながら熱心にプログラムに参加し、より良い社会を目指して活動されていることはとても素晴らしいことだと思います。

この催しや、さまざまな取り組みをつうじて、国や地域、言語、障害など、自分とは異なる背景や状況に対する理解が深まっていくことを願っています。そしてこのような理解の広がりにより、誰もが安心して暮らせる社会になること、誰もがより幅広い選択肢を持つ社会になること、そして、これらが当たり前になることを強く願います。

おわりに、今回のアグーナリーが皆様の大切な思い出になるとともに、皆様がこれからもより良い社会の実現に向けて一層ご活躍されることを心から願い、私のあいさつといたします。ありがとうございました。



佳子内親王殿下のお成り

この日は大会に佳子内親王殿下のご臨席を賜り、場内プログラムのご視察や代表スカウトとの懇談を行いました。

場内プログラムでは、スカウトとともに「ドリームドーム」作りをお手伝いいただくとともに、ご自身の大会に対する願いを書かれたカードをドームに貼りました。その後、各地

から集まった代表スカウトと親しく御懇談を賜り、さらに食堂では、本部スタッフの奉仕活動を御視察いただくとともに、参加者への配膳のご支援を賜りました。「交流の夕べ」においては、参加者におことばを賜り、国内外の参加隊の元気いっぱいの演技を御覧いただきました。

Topics

皇室とボーイスカウト

日本アグーナリーには昭和51年に愛知県で開催した第2回大会から皇室の方にお越しいただいており、毎回、プログラムのご視察や参加者との懇談のお時間をいただいております。

今回、佳子内親王殿下には初めてアグーナリーにお越しいただき、参加者一人ひとりとお言葉を交わしていただきながら大会の趣旨をご理解いただくことができました。

8月11日(日)

場外プログラム ドリームアワード授与

この日は会場の外に出て福島名産の工芸品作り体験やお城の見学などさまざまな場外プログラムを展開しました。台風の接近により一部の施設には訪問することができませんでした。その間、場内ではディビジター（日帰り参加者）のためにプログラムを展開し、全国から日帰りで参加してきたスカウト関係者や近隣の一般児童がプログラムを楽しみました。

また、この日はチャレンジルー（高校生年代のスカウト）たちが各種の技能章講習会（手話章、介護章、看護章、点字章、防災章）に参加し、細目を履修しました。

場外プログラムへの参加をもって、ドリームアワードの項目がすべて達成されました！ 場外プログラムから帰ってきた参加者は大会役員からアワードが授与されました。

この日の夜は、台風接近の影響により、安全面を考慮し野営の参加者、スタッフを全員宿舎泊としました。



■ 磐梯の夕べ

夜には開催地である福島連盟による歓迎の催しとして「磐梯の夕べ」を開催しました。ボーイスカウト福島連盟およびボーイスカウト北海道・東北ブロックの各県連盟に加え、地元企業や団体からも多数ご協力いただき、夜店の出店やステージショーが披露され参加者はお祭りのような雰囲気を楽しみました。





Topics



ディアワード／ドリームアワード

参加者は日々いろいろなことに挑戦します。用意されたプログラムへの参加はもちろん、仲間との交流や自発的な活動も大切なプログラムの1つです。日々の挑戦を認められると「ディアワード」というバッジをもらうことができます。そして、下記のことチャレンジし、全ての認証を大会スタッフと隊長から受けると『ドリームアワード』が授与されます。プログラムに参加するだけでなく、大会運営のお手伝いを行うことも大切な体験となります。

- **自由交歓プログラム**
3人以上の人と名刺やプリクラを交歓し、友達になる。
- **スカウトタウン・サービス**
班や隊のスカウトタウン・サービスで「感謝」や「助け合う」ことについて話し合う。
- **サービスプログラム**
アグーナリーの大会運営に役立つ奉仕活動に取り組む。
- **場内プログラム**
2つ以上の場内プログラムに参加する。
- **場外プログラム**
場外プログラムに参加して楽しむ。



磐梯の夕べ協力者一覧 (順不同敬称略)

- **協賛【企業】** 和風居酒屋ダイニング KINKA / ヨウコウ商会 / 有限会社須賀川環境エンジニア / 須賀川地方クリーン事業協同組合 / 株式会社熊田商店 / 有限会社吉田総業 / 株式会社ひまわり / クボタ環境衛生株式会社須賀川支店 / 株式会社トラベックス日本観光社 / 株式会社イオン / 松宮株式会社 / プリマックス株式会社 / 高橋司法書士事務所 / 株式会社柏屋 / バクシュタットオオゼキ / 福島駅前通り商店街振興組合 / 駒田屋本店 / 有限会社中山染工場 / 株式会社ダイオー / 有限会社フラワースイ / 有限会社三共ハイヤー / 株式会社福島県南環境衛生センター / 有限会社白河衛生社 / 有限会社山商 / 仲島商事有限会社 / アメニティ石川地方エコーピス協同組合 / 明立産業株式会社 / 有限会社上石清興 / 有限会社第一清掃社 / 株式会社郡清産業 / 中央清運有限会社 / クボタ環境衛生株式会社 / 有限会社福島青興社 / 株式会社あおい / 株式会社マザール / 株式会社サポート / 株式会社安田塗装
- **協賛【個人】** 宮澤和男 / 加藤高明 / 高崎友延 / 添田明憲 / 渡部吉典 / 高橋元気太郎 (高橋文郎) / 橋本英則 / 伊藤広道 / 高木 徹 / 丹治直人 / 丹治恵喜子 / 大野順道 / 野中寿勝 / 関根一男 / オノナト
- **夜店出店協力団体** 一般社団法人猪苗代青年会議所 / 株式会社いなびし (猪苗代町) / チーム獅 (会津若松市) / 須賀川商工会議所青年部 / ボイスカウト青森県連盟 / ボイスカウト岩手連盟 / ボイスカウト秋田県連盟 / ボイスカウト山形県連盟 / ボイスカウト宮城県連盟 / ボイスカウト福島連盟県北地区 / ボイスカウト福島連盟いわき地区 / ボイスカウト福島連盟会津地区 / ボイスカウト福島連盟県南地区
- **ステージショー** 福島県立あさか開成高等学校 フラ・タヒチアンダンス同好会 (郡山市) / チーム獅 (会津若松市) / ウルトランタイガショー
- **協力団体** 有限会社糸井火工 / 株式会社あおい / 株式会社マザ

8月12日(月・祝)

閉会式

あっという間に最終日を迎えました。朝から「閉会式」を行い、フォーラム内容の発表や大会の振り返り動画の上映などを行いました。各地から集まった参加者は大会ソングである「かがやけアグーナリー」をみんなで歌い、次回大会での再会を誓いました。

Topics

アグーナリー新聞

大会期間中に発行された「アグーナリー新聞」。大会の広報班では日々の出来事を取りまとめて、翌日、アグーナリー新聞として参加者に配布していました。毎日発行される新聞を参加者もスタッフも楽しみにしていました。



閉会式



みんなの We Can!

大会テーマにちなんで参加者・スタッフの目標や挑戦したいことを集めました!



君は名カメラマン

場内プログラムの1つとして参加者が自分たちで撮った写真を集めました。ここでは集まった写真の一部をご紹介します。



■ 大会協力



■ 協賛

meiji

paloalto
NETWORKS

Yakult



■ 助成

EXPO'70 FUND
(公財) 関西・大阪21世紀協会

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を
おこそう

■ 協力 (プログラムおよび物品)

アイコム株式会社
赤城乳業株式会社
株式会社ゴーゴーカーグループ
ソニー・太陽株式会社

パロアルトネットワークス株式会社
東日本高速道路株式会社 (NEXCO 東日本)
ビクトリノックスジャパン株式会社
株式会社ヤクルト本社

13th Nippon Agoonree

公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟

住 所 〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号

電 話 03-6913-6262(代表)

ファクシミリ 03-6913-6263(代表)

<https://www.scout.or.jp>

発行：2024年12月1日